

# 津波避難マップについて

## 目的

内閣府の中央防災会議では、津波は自然の脅威であり人間では阻止できないことを前提に、最悪条件下における最大クラスの津波（レベル2）に対しては、「自らの命を守るため『逃げる』」という考えのもと、「減災」の視点が示されました。

この津波避難マップは、茨城県で想定した最大クラスの津波の襲来や浸水などを正しく理解していただくための基本情報を盛り込むとともに、津波から迅速かつ確実な避難ができるよう、高台及び避難所の位置とそこへの避難ルートを示すことで避難時間を短縮し、被害を最小化することを目的とします。

## マップの活用

強い揺れや長い揺れが発生した場合、津波の襲来が予想されます。日頃より、避難先となる高台までの経路の把握に努め、いかに短時間で避難できるか、このマップを利用して家族で話し合ってください。

また、津波に対する知識及び理解を深めるための学習材料としても、ぜひご活用下さい。



家族で話し合しましょう



学習教材として活用

# 想定津波の「見える化」



P.3~P.12

平成24年（2012年）に茨城沿岸津波対策検討委員会が示した、最大クラスの津波による「津波浸水想定」を基に、ひたちなか市沿岸部の浸水状況をシミュレーションし、時間ごとに「見える化」しました。

## < 津波想定地震規模 >

津波想定となる地震規模は、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）と茨城・房総沖を震源とする地震をもとにそれぞれシミュレーションを行い、市に大きく影響を及ぼす津波を抽出しています。

### 想定津波の諸元

想定津波名	東北地方太平洋沖地震津波	茨城県で想定した津波
地震規模	M9.0, 最大震度7	M8.4, 最大予想震度7
震源	震源：三陸沖 	震源：茨城沖～房総沖 
市への津波の影響	最大遡上高標高約7m（平磯地区） 最大浸水深約5m 津波到達時間約40（※）分 浸水面積約3.0 km <sup>2</sup> <small>※浸水の始まる時間</small>	最大遡上高標高約10m（平磯地区） 最大浸水深約5m 津波到達時間約33分 浸水面積約4.0 km <sup>2</sup>
特徴	地震規模が大きい	遡上高が高い 津波到達時間が早い

# 津波避難の「見える化」

P.13~P.22

津波シミュレーション結果を基に、避難者が円滑かつ確実に避難できるよう、高台までの具体的なルートを見える化しました。また、近くの高台までの徒歩による避難時間を、5分ごとに「見える化」しました。

## < 高台へ避難するための行動計画 >

市に津波到達が想定される時間は、**地震発生から30分後**です。

地震が収まるまで5分、避難するための準備に10分かかると想定し、自宅から近くの高台まで15分以内で避難することとします。



### （歩行速度の設定について）

避難の際の歩行速度は、東日本大震災のデータ及び避難訓練時の実測結果などから、平坦部で時速2.51km（毎分41.8m）、坂道や階段、液状化現象予測（※）箇所では時速1.59km（毎分26.5m）としました。

※東日本大震災のデータを基に、平成25年に市は液状化現象の発生予測を行っています。

